

町連創立20周年記念行事の意義と

目指すべき平岡像



tomorrows、平岡

平岡地区連合町内会

会長 中川 昇

創立20周年を迎えて 経緯と意義

ようやく春らしい季節になつて参りました。

皆様、ご健勝でお過ごしの事と拝察申し上げます。

日頃は、町連行事にご理解とご協力、参加頂き感謝申しあげます。

し上げます。

昨年、平岡町内会連合会は創立20周年を迎えました。

11月10日記念式典をまち

づくりセンターで、ご来賓、

町内会の皆様、約120名のご参加を頂きました。

平岡地区に開拓の歴史が入つて約120年になります。大正初期15戸、昭和9年25戸、

農事実行組合の歴史は80年を経過し、素晴らしい平岡の環境整備や町内会連合会設立に多大なるご支援、ご協力を頂きました。大規模な宅地開発に伴い昭和63



20周年記念式典

(一) 平岡の歴史と農機具、住環境等ご覧頂きました。農事実行組合の歴史は80年を経過し、素晴らしい平岡の環境整備や町内会連合会設立に多大なるご支援、ご協力を頂きました。大規模な宅地開発に伴い昭和63

年、14町内会、3346人となりました。現在は26町内会、9672世帯、人口22,990人と増加し、穏やかで安心安全な街として存在していますのは、長い年月を経て深い絆を持った思いやりのある町内会活動をされてきた賜物であります。

ご尽力頂いた皆様に心から感謝申し上げます、町内会組織、近隣の交流は毎日の生活を温かく支えてくれました。

「雨、風、雪にめげず開拓に流せし汗に光る平岡」あしりべつ郷土資料館の歳華に、記述されています。

この記述は、平岡の歴史と農機具、住環境等ご覧頂きました。農事実行組合の歴史は80年を経過し、素晴らしい平岡の環境整備や町内会連合会設立に多大なるご支援、ご協力を頂きました。大規模な宅地開発に伴い昭和63

(二) 平岡の人々が連携し協力を高めながら、交流と活動の輪を広げる事で、触れ合い、いきいきと暮らせる街。故郷としてこの地に生まれ成長していく子供達の平岡地区での楽しい思い出づくり。

(三) 永住の地として、平岡を選んで安心して暮らせ、世帯間を超えて触れ合いづくりを進め、ここに住んで良かつたと思える街。

(四) 清潔で花、緑が多くクリーンな街づくりを進め、行き交う人々が声を掛け合える街。

(五) 防犯活動、防災訓練、交通安全活動の熱心な街。

(六) スポーツ、お喋り、カラオケが盛んな食文化、お祭り等楽しめる街。

平岡地区町内会連合会
清田区平岡7条3丁目9-25
平岡地区会館内
☎ 883-7100
発行責任者 中川 昇
編集責任者 妹尾 裕司
渡辺綱太郎

今後、町連が目指す
平岡像

札幌市まちづくり戦略ビジョンによりますと平成27年をピークに人口が減少に転じます。

特に、働き盛り世帯の大幅減、高齢単身世帯の増加など大きな転換期を迎えます。

平岡地区も同様にこの急激な変化に対応すべく以下のようないきたいと思つて行していきます。



平岡中央中学校生徒と共に行なった
防災避難訓練

今後、町連が目指す平岡像

札幌市まちづくり戦略ビジョンによりますと平成27年をピークに人口が減少に転じます。

特に、働き盛り世帯の大幅減、高齢単身世帯の増加など大きな転換期を迎えます。

平岡地区も同様にこの急激な変化に対応すべく以下のようないきたいと思つて行していきます。

(一) 平岡の人々が連携し協力を高めながら、交流と活動の輪を広げる事で、触れ合い、いきいきと暮らせる街。故郷としてこの地に生まれ成長していく子供達の平岡地区での楽しい思い出づくり。

(二) 町内会で取り組みされてる高齢者見守り活動は好評価を受けています。支援者の思いやりのある言動は同じ地域の人から安心感が与えられます。対象者が今後増えていきますが、まさしく変化に対応する重要な施策として継続しなければなりません。

これからも平岡町内会連合会は、創世記の良き事業を継承しながら新たな事業を果敢に取り入れてまいりますので、各単位町内会の益々の御理解と御協力をお願い申し上げます。

末筆に成りましたが、今年も良い年になります様に皆様のご健勝ご発展を祈念申しあげます。

サロン活動の紹介 手作りの福祉を目指して

平岡地区町内会連合会広報紙

会長 松田克寛

完成させることができました。

平岡団地自治会は平岡町内会に次いで、50年以上前に金星団地として平岡の地区誕生した自治会です。

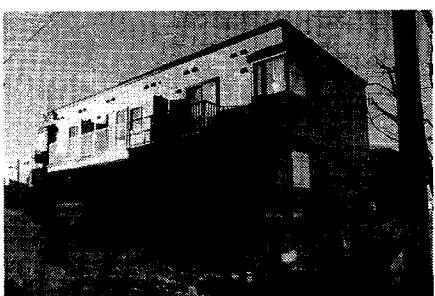
3年前までは通常の自治会活動をしていましたが、東日本大震災発生以降「助け合い・見守り活動」の研修が頻繁に開催される機会が増え、当自治会においても福祉関連活動を興すための協議をしていました。

広域ふれあいサロン 「ゆらり」の誕生

その年の9月に建物所有者

のご好意により集合住宅の地階部分を地域で活用してくださったお話をいただき、急速に活用方法の協議を重ねてきました。

当自治会には集会施設がありませんでしたので地域住民が交流できる会場施設を持つことになり、2年間の総会審議を経て昨年7月に会員ボランティアの手作りによるサロン施設を



「ゆらり」の外観

平岡地区初の 広域サロン活動

施設および活動の名称は「ふれあいサロン」「ゆらり」といい、35坪程度の集会施設内で昨年10月から当自治会並びに平岡地区住民の方々の交流施設として活動をしています。当サロンは基本的に有料施設ですので、夏期150円・冬期200円(1ステージ)でご利用いただいています。

施設および活動の名称は「ふれあいサロン」「ゆらり」といい、35坪程度の集会施設内で昨年10月から当自治会並びに平岡地区住民の方々の交流施設として活動をしています。当サロンは基本的に有料施設ですので、夏期150円・冬期200円(1ステージ)でご利用いただいています。

事業の目的と必要性

地域住民の高齢化により独居老人の孤立や周囲とのつながりの希薄化が進んでいる状況にあるなかで、長年住み慣れた地域でこれから先も住み続けられるよう誰もが孤立せずにお互いに支え合う「まちづくり」を進めていくことをサロン事業の目的としています。

このサロン事業は札幌市から「シニアサロンモデル事業」の採択を受け、その指導のもとに実施しています。平成17年から、この事業採択を受けたサロンが市内各区に19団体あり、現在も活動を活発に行っています。ただし、町内会(自治会)は事業補助対象者となりませんので、ふれあいサロン「ゆらり」運営委員会として運営しています。

平岡地区においては、初めての広域サロン活動となりますが、今後さらに高齢化率が上がっていく現状において、ふれあい交流を興すことが私達の考える福祉活動の基礎と捉えています。



押し絵づくり・編物

「地域の活性化」を進めるう

①生きがい活動(文化教室・音楽会・映画会・保健活動・同好会活動)、②情報交換活動(講座の開催・各種情報の提供・高齢者の生活相談)、③地域貢献活動(生活支援活動・地域奉仕活動)、④世代間交流活動となっています。

事業の効果は、地域住民同士の「つながり」が再生され、世代間・利用者間で「支え合いサービスの循環」ができる仕組みが生まれます。この自然体の活動が

も解決できるものと考えます。「ここに来れば誰かに会える・ここがあれば安心できる」そんなサロンを目指していきます。

サロン事業の事業概要

各活動の利用者数は増加傾向にあり、平岡地区の多くの町内会(自治会)から来ていただいている。また、運営ボランティアスタッフとして当自治会以外の町内会から4名が協力してくれています。各種サークル活動の利用者がさらに増えています。



ふまねっと運動教室

サロン活動の現状

月平均150名を超える利用者数があります。活動内容は、①健康教室、②ふまねつと運動教室、③ふれあい喫茶、④手芸、⑤マージャン、⑥囲碁、⑦カラオケ、⑧映画会、⑨英会話教室、⑩各種茶話会、⑪自治会イベント会場、⑫各種会議などに利用しています。

え、同好会となり活発な活動となつていくことを期待しているところです。当サロンの利用者はお客様としてではなく、各自が主体的に集い、交流を持つために来館してくださっています。

サロン活動の定着に向けて、参加型の福祉環境へ

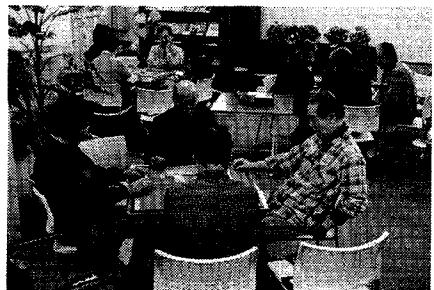
このサロン活動を開始した当初は活動の内容や利用者の集客に苦戦していましたが、半年が経過した今は新たな利用者の流れが起きていています。まだまだ予定の活動や利用者数には達していませんが、今後はそうなるいくものと信じています。

平岡地区は良い意味で緑が多く、素朴でのどかな気風を残しています。その環境のある今にこのサ



健康教室講座「脳を若々しく保つために」

え、同好会となり活発な活動となつていくことを期待しているところです。当サロンの利用者はお客様としてではなく、各自が主体的に集い、交流を持つために来館してくださっています。



マージャン

ロロン活動を定着させることが、住民交流を次世代に残せる唯一の手段であり、将来にわたって安定した生活环境を維持していくことになります。平岡の地に住みたい、住んでいて良かつたと思える環境を住民一人一人の手で築いていきたいのです。

福祉は時代の変遷により守備範囲が広くなりすぎてしまっています。まだまだ予定の活動や利用者数には達していませんが、今後はそうなるいくものと信じています。

平岡地区は良い意味で緑が多く、素朴でのどかな気風を残しています。その環境のある今にこのサ

ロロン活動を定着させることが、住民交流を次世代に残せる唯一の手段であり、将来にわたって安定した生活環境を維持していくことになります。平岡の地に住みたい、住んでいて良かつたと思える環境を住民一人一人の手で築いていきたいのです。



少年野球教室講演
「元プロ野球選手を招いて」

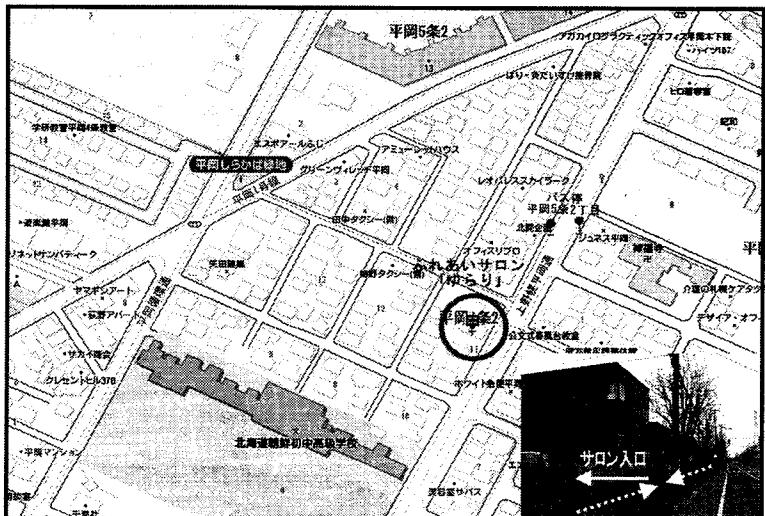
当サロンは自治会の会館としての機能も備えていますが、ふれあいサロン活動を主体として運営しています。

サロン活動の御案内

ら、多くの福祉問題の解決に寄与することになります。

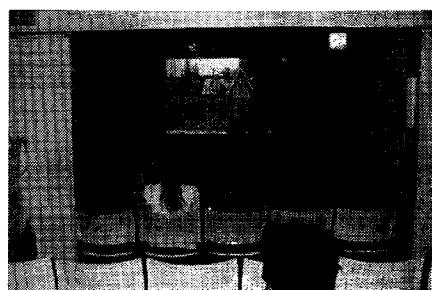
サロン活動の案内・月間予定表は前月の2週間程度に各町内会(自治会)様のご協力により回覧していただいているので、活動や同時に参加・利用することで自らが福祉環境を築いていくことになります。このようにこれから時代は参加型の福祉も重要な要素となつてきますので、多くの町内会(自治会)様でサロン活動が興きて平岡地区が「サロンのまち」になつたとした

サロン施設所在



サロン施設住所

平岡4条2丁目11番11号 コスモテラス地階



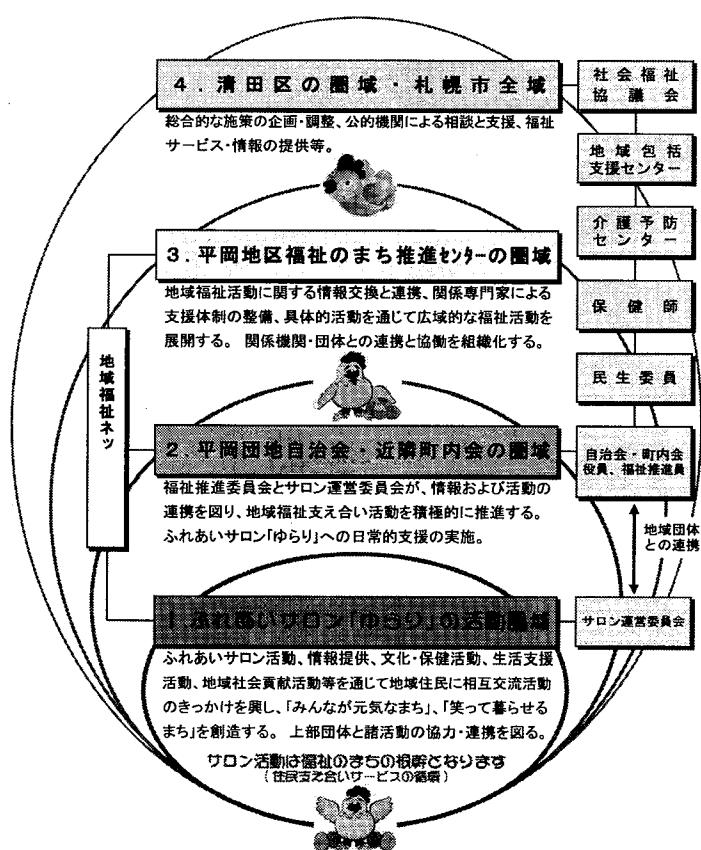
親子映画会

地域の大きな社会資源となるこのサロン施設を活用し、活動を積極的に展開することにより「笑って暮らせるまち」になつて行きます。全ての人が「優しさの輪でつながる」環境を創造していくまでの、ご理解とご協力をお願いいたします。



ふれあいサロン「ゆらり」活動圏イメージ

当サロンは、地域住民を対象に交流活動のきっかけを興すことにより、住民相互の親睦と扶助を図り、地域福祉の増進と地域社会に寄与することを目的として活動する。福祉活動の重層的な圏域のイメージは下記のネットワークを理想とし、ふれあいサロン「ゆらり」の運営するサロン活動が広域的な福祉環境の整備と実現を目指すための基礎的活動となる。



2014年4月

ふれあいサロン「ゆらり」月間予定表

同好会・サークル利用者募集中!
運営ボランティアスタッフ募集中!

日	月	火	水	木	金	土
30(3月)	31(3月)	1	2	3	4	5
午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)
午前 映画会 9:30~ (9~12時) 「少年H」 午後 サロンマージャン、 囲碁 13:00~16:00 夜間 平岡団地自治会 会議 (17~20時) 予定会議 16:30~	午前 新婦人プラムマージャン (9~12時) 同好会 10:00~14:00 午後 サロンマージャン、 囲碁 13:00~16:00 夜間 サロン運営委員会 15月 (17~20時) 予定会議 16:30~					
6	7	8	9	10	11	12
午前 映画会 9:30~ (9~12時) 「少年H」 午後 サロンマージャン、 囲碁 13:00~16:00 夜間 サロン運営委員会 15月 (17~20時) 予定会議 16:30~	午前 新婦人プラムマージャン (9~12時) 同好会 10:00~14:00 午後 サロンマージャン、 囲碁 13:00~16:00 夜間 サロンカラオケ (17~20時) 17:00~20:00	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)
13	14	15	16	17	18	19
午前 平岡団地自治会 (9~12時) 会議 9:00~12:00 午後 平岡三条団地自治会 (13~16時) 会議 12:00~16:00 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 平岡団地自治会 (9~12時) 会議 9:00~12:00 午後 平岡マージャン、 囲碁 13:00~16:00 夜間 マリーズ英語教室 (17~20時) (中学生) 18:30~20:30
20	21	22	23	24	25	26
午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 平岡団地自治会 (9~12時) 会議 9:00~12:00 午後 サロンマージャン、 囲碁 13:00~16:00 夜間 マリーズ英語教室 (17~20時) (中学生) 18:30~20:30
27	28	29(祝日の日)	30	1(5月)		
午前 映画会 9:30~ (9~12時) 「ライフアバイ」 午後 サロンマージャン、 囲碁 13:00~16:00 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)	午前 (9~12時) 午後 (13~16時) 夜間 (17~20時)		

平岡地区の多くの皆様からご利用いただいている、地域交流施設ですので気軽に参加・利用してください。



高齢社会に対応する 新しい班編成

平岡第五町内会

会長 天野 雍一郎

現状

当町内は南は平岡中央通り、東は平岡循環路に囲まれ、北西はわかば公園に接する、ほぼ長方形の姿をした町内であり、その中を東西、南北両方向に複数の生活道路が走っている。世帯数126戸、人口約370人の小さな町内会であるが、65才以上の高齢者の割合が三割を超えて、札幌市全体の10年後に既に突入しており、その対応を迫られている。

「旧班の問題点」

- ①自分の班に属している人の名前を知らない。
- ②名前を知っていても顔が判からない。
- ③顔が判ついていても、あいさつをしない。
- ④あいさつをしても、対話をしても人間関係をつくろうとしない。

「場合には、子どもたちが心配される孤立

【阪神淡路大震災の教訓】

愛知江南短大学長の中田実氏は町内会の小さな下部組織を強調している。

死の防止はもちろん、大地震等の災害時の安否確認作業を自分たちの手で行なうことは全く期待できない。

こうした状況が生まれてゐる大きな理由は、住宅地開発時の不動産業者の都合による区分を、そのまま旧班の区分としたためと考えられる。この結果、近隣間関係はつくれない。

①一つの班の戸数が多くなる（12戸～18戸）、きめ細かい「向う三軒」は基本的には別の班となってしまつてゐる。つまり本来は町内会活動の基礎となるべき近所づきあいと班組織が全く一致していないところが旧班の問題点である。

の虐待の兆候をつかむこと、も、独居高齢者の安否の見守りが必要になることもあるであろう。こうしたきめ細かい隣人への配慮は、大きな組織では困難である。細分化され、永続的な組織だからこそその役割が果たせるのである。（中略）小さくこの組織のメリットである。防災活動の単位は、まさにこの組織を活用することにある。（「地方分権時代の町内会・自治会」）作家であり地域研究家でもある佐藤文明氏は対面する「向う三軒隔離」を前に提としていない神戸の町内会は震災時にひとつも役に立たなかつたと述べている。「地域の助け合いが災害の被災を最小限に抑えるのはたしかなこと。普段からの交流が望まれます。しかしここでいう地域とは、向う三軒、両隣り」のことで、向う三軒は別な単位となるため、町内会として組織することはできない相談なのです。（中略）近所づきあいと町内会活動では、この際、時に名称を付した。

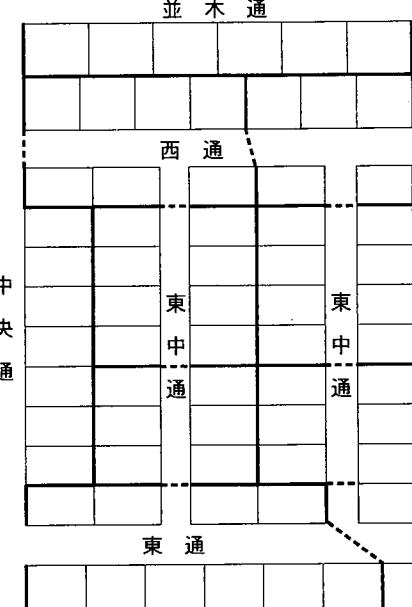
でどんな対処をしたのか、具体的な話しあひとつもありません。」（「あなたの町内会総点検」）

新しい班編成への挑戦

業者都合から住民本位への班編成。近所づきあいと町内会活動の一体化。高齢者同士の相互助け合い。を合言葉に、平成25年4月1日に新しい班編成に切り替えた。その内容は次のとおり（別図参照）

①旧8班を細分化し17班とした。（この結果一班あたり、6戸～7戸の小さな班となつた。）

②原則として生活道路を挟んだ対面型とした。（「公区」と呼ばれた）



実線が旧班区分、点線が新版区分
細線が旧班区分、太線が新版区分

が生まれたときに、南1条～3条は対面型であつたとの記述がある。また現在でも岩見沢市のとある町内会は対面型を続けている。道路の除雪などに対する協力体制は強いと聞いている。

（例）並木道1班、東通2班、東中道3班

（注）生活道路は通勤、買い物、ゴミ捨て、散歩、買物、除雪作業など日常生活を続けるだけで、班内の交流が自然に図れる大切な場があるので、この際、時に名称を付した。

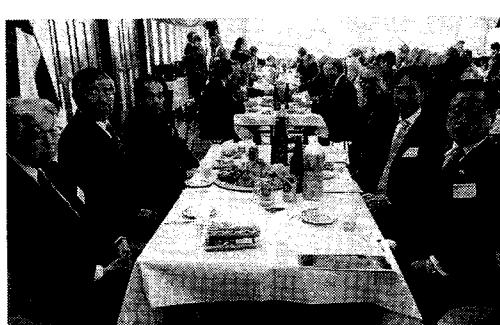
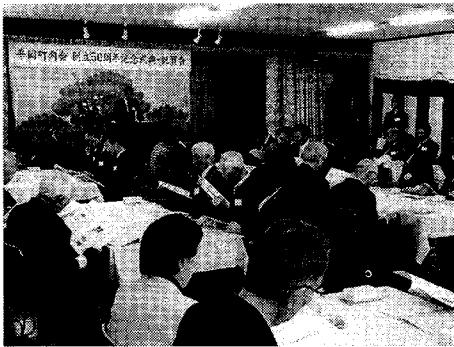
変化

- ①町内会員の集金、広報紙の配布など、班長の業務が大幅に軽減され、高齢の班長に喜ばれるようになった。
- ②回覧板が2～3日で班内を1周するなど情報連絡が極めて速くなった。
- ③町内の一休感が強まり、新年会、植花作業など町内会行事への参加者、協力者が増加した。
- ④道路の除雪に対する班内の協力関係が強まり、今冬期はパートナーシップ、除雪の辞退が可能となつて、多額の経費節約となつた。

新しい班編成に切り替えてから1年が経過し、右のような目立った効果も出ているが、何と言つても最大の目的は非常時、異常時に真価を發揮できる、安全、安心なまちづくりである。新しい班内の近所づきあいをより強固なものとして、高齢者の孤立化を防ぎ、いつかくる日、に備えていきたい。

140万坪、現在の旧国道36号線北側にあり後に山鼻屯田給与地となり、この地区が平岡の基盤となりました。

50周年式典・祝賀会のようす



平岡町内会五十周年 記念事業を終えて

平岡町内会

会長 水上悟

今年、3月2日(日)平岡地区会館にて記念式典を、平岡まちづくりセンター所長、道議会・市議会議員、

はじめ多くのご来賓の方々にご臨席を賜り盛会に終えることができました。五十年を振り返つてみると、昭和38年4月に当時の平岡農事実行組合のご尽力により平岡地区に2番目の平岡町内会が平岡会館(平岡まちづくりセンター)にて創立されました。当初20数世帯の会員でしたがその後、札幌市の発展に伴う世帯数の増加により現在250世帯の会員となりました。

その後明治41年、豊平町になり大正・昭和と徐々に入植者が増え、昭和9年坂の上農事実行組合(平岡農事実行組合)が結成されました。昭和36年に札幌市と合併し現在に至つております。

原野の開拓、戦前戦後と最も厳しい時世を乗り越えた、先人・先輩たちに衷心合つて、住みよい地域社会を作つていくことが目的です。昨今では、犯罪に対する目配りや、災害などの不測の事態、さらには高齢社会などへの対応に対し、最

より感謝いたしております。また、平岡町内会の歴代の会長はじめ、役員の方々のたゆまぬご努力に心から敬意と感謝申し上げます。

今日の平岡町内会があるのも、清田区ご当局をはじめ関係機関、関係団体及び役員・会員皆様方のご協力によるものと、衷心よりお作り、焼畑し開墾したと文獻にあります。

礼を申し上げる次第であります。いざという時には「遠くの親せきより近くの他人」という言葉があります様に今後も、地域でのふれあいの輪を広げ、連帶意識を高めたいと思います。

町内会の目的

町内会はその地域に住む住民同志が助け合い強力して、住みよい地域社会を作つていくことが目的です。昨今では、犯罪に対する目配りや、災害などの不測の事態、さらには高齢社会などへの対応に対し、最

も身近なよりどころとして町内会の役割は、ますます重要視されてきております。人ととの関わり合いが希薄になってきておりますが、いざという時には「遠くの親せきより近くの他人」という言葉があります様に今後も、地域でのふれあいの輪を広げ、連帶意識を高めたいと思います。

おわりに

住民福祉と安全で安心な街づくりのためには行政と町連と町内会の連携が必要であります。平岡町内会は50周年を一つの通過点と位置づけ今後も頑張る所存でございます。



「自治会近況」

平岡 shin-taku 自治会

会長 山 田 唯 夫

当、平岡しんたく自治会は、昭和56年に120世帯で設立され、現在は322世帯で規模的には普通の自治会と思つております。

毎年恒例事業である、春の清掃（生活道路、公園も含む）から活動は始まります。会員多数や家族の方も参加され、互いに親睦を深め、協力し合うという雰囲気が充满しております。本当に有難いことと思っております。

年間行事は、夏に集中しております。子供達が夏休みに入ると同時に、ラジオ体操、キャンプ、七夕、花火大会、その後に全員参加の夏まつり、盆踊りが一大イベントとして実施しております。

中でも仮装盆踊は、例年、樂生会（老人会）会員や、一般参加者が多数踊り、大変盛り上ります。また、全会員に賞品が当たるチャ

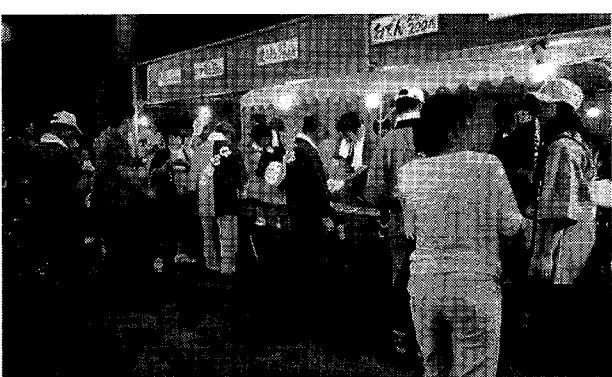
ンスの抽選会や、恒例の「餅まき」の時間帯になりますと、人出も頂点に達しています。どこからこれほど大勢の人が集まってくれたのかと不思議な感じさえする状況となり、ありがとうございます。

この夏まつり事業を通じて自治会の絆が保たれ、維持されているのだろうと思つております。

交通安全対策部では、区内の交通安全運動街頭啓発（都度町連）、パートナーシップ排雪事業、生活道路の排



仮装盆踊面々



出店、焼もの風景



テント中、本部席

技は終了し、昼食時に参加者全員でジンギスカンを囲み、親睦を深めます。

広報部からは年3回、広報誌が発行されます。大きな行事、新しい出来事等が記載され、会員に配布されます。

防犯防火部では消火訓練、自主防災組織支援隨時開催、町連会議、事業に参加しています。

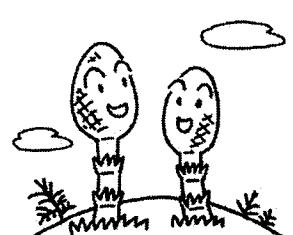
交通安全対策部では、区内の交通安全運動街頭啓発（都度町連）、パートナーシップ排雪事業、生活道路の排

雪時に安全の為の立合等を行っています。

女性部担当事業としては、がん検診（胃・大腸・子宮・乳がん等）、社会見学、懇親会、一円玉募金等を行つております。

一連の流れを述べました。が、自治会役員の担手が少ないこともあります。役員公募を行っております。

会員の皆様の日頃のご尽力に対し、心より感謝を申し上げます。





みんなの広場コーナー



梅の木の魅力

平岡第一自治会

泉 豊吉

私は自然とふれ合えるのが好きで、カメラを持つて歩きます。

梅公園は雪解けと同時に、エゾノリュウキンカ・ミズバショウなど矢継ぎ早に花をつけます。梅は、五月連休の後少しで花をつけます。

梅の花はいろいろあります。楚々として静かに咲く白い花や、色が濃く熱く咲き誇る八重の紅梅などその美しさに心躍られます。花の終わつた頃には独特

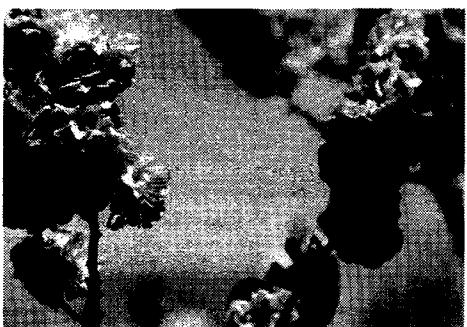
の美しさがありました。また、梅の樹木の豪快な表情の中に、か弱い花を包み込む優しさや暖かさを感じました。

今冬は厳しい寒さに遭つておりますが、春を待つ北国の中の梅の木はまた美しい花を咲かせる準備をしているのでしよう。

写真を整理しながら、梅の木の魅力を改めて感じておいるこの頃です。

趣味の書道作品

平岡北町内会 妹尾裕心司



第45回国際現代書道展一般公募「特選」



第65回毎日書道展一般公募「入選」



おとがき

オリンピックは文部科学省、パラリンピックについてはは校正労働者が統括していることは周知の事柄であります。

しかし、『手術よりもスポーツを……』を唱えたイギリス王立病院の脊髄損傷科医のルーディッヒ・グッドマン卿の「主張」を識っている人は多くはないでしょう。

今年のパラリンピック(3/31)で鈴木猛央さんが男子アルペン競技で金メダルの栄誉に輝きました。

猛央さんが両足が両足の太股以下を切断し障害認定を受けたのは、小学2年の3月でした。

障害がある人には、病にしろ事故にしろ当事者が識り、見守る家族があり共感できる仲間がいて励ます制度があり、障害をバネに「人生設計」を練ります。

ソチ・パラリンピックの回転競技を見ながら、時速百キロメートルを越えて滑る大回転競技(スピードのあまりコースからはずれ、棄権していく様子に胸を痛くしながらも、その場を離れられなかつた。